

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	鹿島のフェリー料金と駐車場料金の値下げをお願いします。 鹿島に、遊べる場所を作っていただかないことには、渡ってもらってもどうしようもないと思う。	平成23・24年度の社会実験を経て、平成25年度より渡船・駐車場料金の値下げを実施しています。ただ、渡船料の無料については、厳しい財政状況の中で実施は困難な状況であると考えます。 鹿島での新たな遊び場については、小規模遊具の設置、キャンプ施設の改修を実施しています。また、平成25年度中に北条鹿島博物展示館を魅力ある施設に改修する予定です。	産業経済部
2	鹿島の市道が通行禁止なのはミスジャッジじゃないか。	遊歩道の通行止めを解除するための安全対策工事を色々と検討していましたが、今年7月4日の大雨では、既に安全対策を行っている箇所の上部から、大木が滑り落ちる被害がありました。 島全体の風化が進んでいる現状を踏まえると、安全の確保が最優先であり、通行止めの解除は現段階では困難と考えています。	理財部 産業経済部
3	鹿島に渡っても冬場はお店がどこも開いていない。 鹿島の空き店舗は、行政で募集をかけて、民間の利用を促進していただきたい。	風早レトロタウン構想では、鹿島の再生がうたわれており、かつての賑わいを取り戻すため、既存の施設を活かしたまちづくりを進めています。島内で営業している店舗は7月現在では4店舗まで回復しています。このうち、2店舗は通年で営業しています。今後、冬場も通して島に来られる方の利用が図れるように地元の皆様や関係機関と協議をしていきたいと思えます。 □	産業経済部
4	鹿島は国立公園ということで規則がたくさんある。鹿島の前面は国立公園を解除していただき開発する。裏はそのまま自然を残すとか、そういう感じで開発と自然の調和のとれた島にしていけたらなと思う。	鹿島は第2種特別地域に島全体が指定されており、建物の新築などについては、環境大臣の許可が必要です。 瀬戸内海国立公園の特徴は、大小1000あまりに及ぶ島々で形成された内海多島海景観ですので、国立公園の区域の一部解除は難しいと思われれます。	環境部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
5	例えば北条駅から鹿島の地域を市で指定地域にし、市を挙げてまちづくりをやっていくのはどうか。	北条地域の活性化を図ることを目的とした「風早レトロタウン構想」を平成25年に策定し、「昭和の賑わいを求めて」のテーマのもと、「再生」「継承」「創造」の3つの視点で、地域住民、関係団体、行政が協働し、北条地域の振興を推進していくこととしています。特に鹿島及び駅前通り周辺を中核エリアに位置付け、活性化を図ることとしています。今後本構想の実現に向け、地域の持続的な発展につながる施策を検討していきたいと考えています。	総合政策部
6	JRの駅前から鹿島に至る経路を何とかしていく。そのために、市役所の支所を駅前へ持ってこれないか。北条支所は壊して公園にしたらどうか。コミュニティセンターと大ホールだけにして、駅前に持っていく。	北条支所については、市民会館・公民館・コミュニティセンターと一体となって、北条地域の方々に総合的に活用されていることから、既存の支所施設を有効活用するため、23年度から24年度にかけて耐震改修工事を行い、H24年11月に完成しました。旧庁舎を取り壊した跡地を駐車場として整備するなど、利便性も向上しています。	市民部
7	北条の駅前辺りの空き店舗をよそから誰か人来てもらって活用できないか、何か利用できるような優遇措置や支援策があるか。 日曜市的なものを定期的で開催してはどうか。以前は、商店街活性委員会があったが、合併して途切れている。これをぜひ継続してやっていただきたい。	北条駅前商店街の空き店舗を活用し、平成23年7月に飲食店がオープン、また、平成24年5月にはJR北条駅構内に交流・賑わい拠点がオープンしています。ともに運営費などの経費の一部について補助しています。 現在、地元の方が主体となり、北条駅前通りを利用したフリーマーケット「かざはや楽市」が2ヶ月に1回、継続して開催されています。この事業も、地域に根付いたイベントとなりつつあり、好評を得ているようです。 25年4月には「風早活性化協議会」が設立され、去る7月21日には北条地域のにぎわいづくりや、地域内外の交流の場づくりを目的としたイベントが開催されるなど、今後も地域の方が主役となり、北条活性化へ向けた取り組みが行われていくものと期待しており、実現に向けて可能な限りの支援を行っていききたいと考えています。 また、市では平成25年4月に「風早活性化事業補助金」を創設し、現在この補助金を活用し、市内で活動するまちづくり団体などが主体となって北条地域の活性化に向けたイベントなどを実施しています。	産業経済部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
8	渡船場の運営や鹿島の清掃などを、北条のまちづくり協議会やNPO団体にさせていただくことができないか。	渡船場の運営及び鹿島公園の清掃については、ともに24～25年度の長期継続契約により委託契約を結んでいます。それぞれ、契約期間が終了すれば、指名競争入札により委託契約を行う予定となっています。適正に業務をしていただけるのか、そして継続的に業務ができるかについて審査が必要になりますが、それらをクリアできれば業務委託は可能です。	産業経済部
9	子どもたちを明るくするために、北条に水族館があればいいと思う。	北条地区への水族館の整備は費用対効果の面からも建設は困難です。代替案として、新たに子どもが利用できる施設として、鹿島おさかなタッチプールを設置し、夏休み期間中に鹿島を訪れる親子連れをターゲットに、地域の漁師さん等のご協力をいただき、皆様に楽しんでいただけますよう運営しています。	産業経済部
10	地域計画を決めるに当たっては、アンケート等で疑問点も含めて意見を聞き、それらを積み上げていく方式にするのはどうか。時間を要しても、市がフィードバックを繰り返しながら、責任を持って全体に知らせていく。そのような行為が計画を実践する上では非常に大切だと思う。福祉問題は、弱者への心配りがベースになること、そして、家族や自分のこととして考えてみる事が大切だと思う。ボランティア活動などの学習や体験を試みることも大切ではないかと思う。	障害者基本法に基づき、障がいのある人に関わる施策の基本方針を総合的、体系的に明らかにした「松山市第2期障害者計画」を平成25年5月に策定しました。策定にあたっては、障がいのある方に対するアンケートを実施したほか、学識経験者や福祉・医療関係者、障がいのある方等で構成する策定検討会を開催し意見交換を図りました。今後は、この計画の基本理念「自分らしく いきいきと 笑顔で暮らせるまち まつやま」に基づき、「共に支えあう やさしい まちづくり」、「自分らしい 暮らしづくり」、「いきいきとした 生活づくり」を図ることにしています。また、多くの障害者施設では、夏祭り、文化祭、収穫祭など施設の行事を一般開放するとともに、ボランティアを受け入れることで、障害者との地域の皆さんとのふれあいの場を設けて、心のバリアフリーの推進を図っています。	保健福祉部
11	高縄山から風和里辺りにかけてのハイキングコースができたなら、お客が呼べるんじゃないだろうか。	本市では、「坂の上の雲」ふるさとウォークに取り組んでおり、22.23.24年度に実施したウォークの様子をホームページで案内しています。	総合政策部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
12	北条小学校の信号からハトマートのちよつと北側の道は、本当に恐ろしいです。何年かかってもいいので、学校までの道は広げて、子どもたちの通りやすい道にしてほしい。	前回のタウンミーティングで、道路整備の要望が出され、地域の皆さんと協議し、2車線の車道と片歩道の幅員9.5mの整備を行うことにし、平成24年度に都市計画決定を行いました。 既に、平成24年度から国の補助を活用し事業に取り組んでおり、平成24年度は道路詳細設計を行い、平成25年度は用地調査や物件調査及び、都市計画法の事業認可を受け、用地買収に着手していく予定です。事業期間は平成24年度から平成31年度を予定しています。	都市整備部
13	松山赤十字病院の移転について。	松山赤十字病院につきましては、新聞等でも報道されたとおり、現在地を活用して建て替える方向である旨、同病院から伺っております。 市としては、市内医療機関の位置的な状況や、同病院が地域医療支援病院として中予圏域の医療に果たす大きな役割、また、救急医療体制の観点から、市内中心地域での建て替えが望ましいと考えており、同病院の方針を尊重し、建て替えを支援していきたいと考えています。	保健福祉部